

## 第12回環境コミュニケーション大賞（環境報告書部門） 採点基準①ー4（地球温暖化対策報告大賞）（平成20年版）

温室効果ガスの削減、その他気候変動対策について、斬新かつ具体的な数値目標を示して取り組みを進める企業であって、その取り組みを社会に広く伝える工夫を行っている最も優れた報告書

環境報告書、持続可能性報告書として優れたものの中で、特に下記の視点等で選考する。

1. 2050年に向けた長期ビジョンがある。
2. 2020年代の中期での達成目標を掲げている。
3. 少なくとも5年以上の期間を設定して大幅なGHGs削減目標を掲げている。
4. 連結ベースで過去、大幅なGHGs削減を実現している。
5. 低炭素社会に向けた提言をしている。
6. 既存テクノロジーと新しいテクノロジーを組み合わせ、新しいビジネス、生活モデルを提唱し、実績を上げつつある。

Etc.

